

教育センターだより

香川県教育センター研究発表会を開催します！

日時：平成30年2月16日（金）12:30～16:25（受付・展示 12:00～）

会場：香川県教育センター（高松市郷東町 587-1）

12:00～12:30	受付	展示1 やってみよう道徳	展示2 小学校外国語玉手箱
12:30～12:45	開会式		
12:50	発表1 全国学力・学習状況調査 及び香川県学習状況調査の結果分析	発表2 協働的な学習における ICTの活用に関する調査研究（2年次）	展示 1・2
13:35			
13:45	アクティブ・ラーニングの視点から実現する学びの質の向上に関する調査研究 ～学びのプロセスの工夫改善を通して～（1年次）		
14:35	発表3-1 小学校	発表3-2 中学校	
14:50	演題 新学習指導要領の考え方と指導改善の視点		
16:20	講師 長尾 篤志 先生	文部科学省 初等中等教育局 視学官	
16:20～16:25	閉会式		

※詳しい日程や申し込み方法等は、各学校に送付している案内状、または、教育センターWeb サイトをご覧ください。

講師 ^{なが お あつ し} 長尾 篤志 先生 文部科学省 初等中等教育局 視学官
演題 新学習指導要領の考え方と指導改善の視点

まもなく告示される高等学校学習指導要領を含む、新しい学習指導要領に定められた
考え方や、これからの学校や授業の在り方について講演していただく予定です。

〔プロフィール〕

- 1981年 広島大学理学部数学科卒業
- 1982年 広島県立高等学校教諭
- 1994年 広島大学附属中・高等学校教諭
- 2001年 国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官（算数・数学）
（文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官を併任）
- 2011年 現職（教科調査官・教育課程調査官を併任）

〔主な著書〕

- ・「アクティブ・ラーニング」を考える（東洋館出版社、2016）所収
『算数・数学科とアクティブ・ラーニング』
- ・授業研究に学ぶ高校新数学科の在り方（明治図書、2004）



【発表1】 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析

2つの調査における「教科に関する調査」及び「質問紙調査」の結果を詳細に分析し、そこからうかがえる本県の児童生徒や学校、教職員にとっての成果と課題について報告します。また、新学習指導要領の考え方を踏まえた改善の方向性についても提案します。



【発表2】 協働的な学習におけるICTの活用に関する調査研究（2年次）

「主体的・対話的で深い学び」の実現にICTの活用が大きく貢献するものと期待されています。児童生徒に情報技術を手段として活用できる力を育むためにも、学校においてICTを日常的に活用できるような環境づくりと、ICTを活用した協働的な学習を取り入れた授業実践が求められています。

香川県教育センターでは、教科等の枠を超えて共通に行う学習活動としてICTを活用した協働的な学習を重視し、教育課程全体を見渡して育成をめざす資質・能力を確実に育てていくことについて、研究しています。研究発表では、第2年次調査報告として香川県教育センター協力学校の実践事例からより良い授業デザインにつなげる事前検討のあり方を含む具体的な方策を提案します。

【発表内容】

- ・教育の情報化に関する国の動向と県内の状況について
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に貢献するICTの特性や強みについて
- ・小・中・高等学校における学習場面と場面に応じたICTの活用の具体的な実践事例について

【平成29年度香川県教育センター協力学校】

- ・香川県立高瀬高等学校
- ・小豆島町立小豆島中学校
- ・善通寺市立竜川小学校

実践の前に（授業デザイン）

ICTを活用する目的は？
授業改善の視点は？
…など。



実践の後で（シェアリング）

問題解決の手段となったか？
ICTのよさを発揮できたか？
…など。



【発表3】 アクティブ・ラーニングの視点から実現する学びの質の向上に関する調査研究～学びのプロセスの工夫改善を通して～（1年次）

平成29年3月、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領が公示されました。高等学校については、今年度中に公示されることになっています。新しい学習指導要領では、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことが求められています。

香川県教育センターでは、児童生徒の学びのプロセスから授業を見直し、学びの質の向上を目指すことを目的に、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法等について研究しています。研究発表では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について、香川県教育センター協力学校の実践事例をもとに、その効果的な方策を提案します。

【発表内容】

- ・アクティブ・ラーニングの視点から実現する学びの質の向上について
- ・小・中・高等学校における具体的な実践事例について

【平成29年度香川県教育センター協力学校】

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| ・香川県立高松北高等学校 | ・香川県立高松西高等学校 | ・香川県立丸亀高等学校 |
| ・香川県立観音寺第一高等学校 | ・高松市立協和中学校 | ・高松市立木太中学校 |
| ・さぬき市立さぬき南中学校 | ・観音寺市立大野原中学校 | ・高松市立十河小学校 |
| ・高松市立牟礼小学校 | ・綾川町立綾上小学校 | |



【展示1】 やってみよう道徳

小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から「特別の教科 道徳」が全面実施されます。すでに、各学校では、多様な教材や体験を生かしたり、各教科等と関連をもたせたりするなど、学習指導の多様な展開を通じた授業改善や評価方法について研究していることでしょ

う。

展示1では、「特別の教科 道徳」の授業づくりのイメージがもてるよう、県内の小・中学校での道徳教育の取組を紹介します。

また、4月から全国の小学校で使われる道徳の教科書見本、道徳に関連する教育書、実践事例等の資料を展示します。



【展示2】 小学校外国語玉手箱

小学校3年生から6年生では、平成30年度から外国語（活動）が先行実施されます。教育センターのWebサイトでは、学習指導案や指導資料を掲載していますので、ご活用ください。本年度の「小学校外国語教育研究推進モデル地域事業※」では、多くの実践をしています。展示2では、その取組の一部をご紹介します。使用した教材、具体的な指導方法などを参考にしたいと思



※三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校
観音寺市立一ノ谷小学校
観音寺市立豊田小学校
三豊市立山本小学校

アクティブ・ラーニングリーダー養成研修講座を開催しました！

新学習指導要領の要となる「アクティブ・ラーニング」に関する講義・演習を実施し、教員自らが指導方法の工夫改善を一層推進することを目的に、2回にわたる研修を実施しました。

第1回〈5月19日実施〉

ねらいと授業づくりの視点について

午前は、次世代型教育推進センター研修協力員から授業改善の実践発表がありました。午後からは、田村 学先生（國學院大學人間開発学部初等教育学科教授）から「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて-アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善-」をテーマにご講演をいただきました。その後、当センター指導主事が「アクティブ・ラーニングの視点からの授業を推進するために」と題して、校種別に演習Ⅰを行いました。

【受講者の感想】

- ・「アクティブ・ラーニング」というものの理解が深まった。具体が見えたように思う。様々な実践をしながら振り返っていきたい。（小学校教員）
- ・「アクティブ・ラーニング」がグループ活動だというイメージが強いと感じるので、今回の研修で学んだことを学校で報告し、イメージを変えていきたいと思った。（中学校教員）
- ・今まではいかに分かりやすく説明するかに重点を置いてしまっていたが、もっと生徒が主体的に考えられるような課題設定をしなくてはいいと思う。（高等学校教員）



◆講演の様子◆

第2回〈12月5日実施〉

授業実践の交流と各校での推進に向けて

前半（演習Ⅱ）では、部会別に受講者が持ち寄った実践事例をもとに「問題の発見・解決のプロセス」と「主体的・対話的で深い学び」の視点から具体的な授業改善の手立てについて交流しました。後半（演習Ⅲ）では、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校種を超えて、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善に向けて、個人でできることや集団でできること等について、協議しました。

【受講者の感想】

- ・他の学校の先生方の実践を聞いて、改めて相手意識・目的意識を明確にした学び合いが大切だと思いました。（小学校教員）
- ・小・中・高の違いはありましたが、目指すところは同じでした。刺激をいただいたり自分の考えを伝えたりしたことで、今後やるべきことが少し明確になりました。（中学校教員）
- ・他校種の先生の話聞いてるとためになります。小・中学校の学びの上に高校があるのだということをもっと意識して授業をします。（高等学校教員）



◆グループ協議の様子◆

教育相談課は、学校をサポートします！

教育相談課では、学校における教育活動を支援するために、次のような活動を行っていますのでご利用ください。

問い合わせ先 教育センター教育相談課 ☎ 087-813-0945（もしくは0946）

学校支援アドバイザーの派遣

むらかみ あきふみ
村上 昭史
アドバイザー

臨床心理士



ふじさわ あかね
藤澤 茜
アドバイザー

社会福祉士
精神保健福祉士
香川SSW 協会長



社会福祉の専門的な知識・技術を活用し、問題解決に向けての支援や SSW への助言、関係機関とのネットワークづくりに向け、学校支援アドバイザーを派遣しています。

※対象は公立小中学校です。

コンサルテーション



H28 年度 111 件
実施しています。

コンサルテーションとは、教育や心理など異なる専門性をもつ者同士が、児童生徒の指導や支援の在り方について話し合うことです。電話での相談やケース会議への参加を通して、専門的な助言を行っています。

研修サポート



H28 年度 23 件
校内研修の依頼がありました。

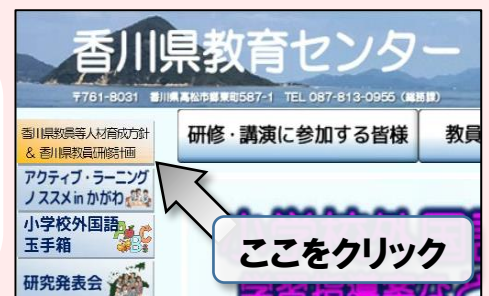
教育相談や特別支援教育に関する校内研修の講師を務めたり、資料の提供を行ったりしています。

来年度から教員研修が変わります！！

「香川県教員等人材育成方針 ～校長及び教員としての資質の向上に関する指標～」
& 「香川県教員研修計画」が策定されました！（県教育センターWeb サイトに掲載しています。）

「香川県教員等人材育成方針」について

教育公務員特例法の一部改正（H29.4.1）に伴い、県教育委員会が策定した本県教員等の育成方針を示したものです。教員等の人材育成に当たり、「目指すべき香川の教員像」を明確に掲げ、**教諭、養護教諭、栄養教諭、管理職**の職種ごとの資質の向上に関する**指標**が示されています。



「香川県教員研修計画」について

「香川県教員等人材育成方針」に基づいて、キャリアステージ全体を見通した教員等の研修の在り方を見直した**新たな研修計画**です。この研修計画に基づいた研修は、**平成 30 年度から実施**されます。特に、基本研修においては、**研修名称、研修実施年次、研修内容、研修日数等**の見直しがなされました。